



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月1日

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所

上場取引所 東

コード番号 6495 URL <http://www.miyairi-valve.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西田憲司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長

(氏名) 市川 浩

TEL 03-3535-5575

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,265	0.8	21	—	15	—	38	—
2019年3月期第2四半期	2,247	△3.1	△0	—	△7	—	△10	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	0.81	—
2019年3月期第2四半期	△0.23	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,621	3,801	44.1
2019年3月期	8,817	3,872	43.9

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 3,801百万円 2019年3月期 3,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,020	3.3	150	—	140	—	100	—	2.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	48,849,935 株	2019年3月期	48,849,935 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	953,009 株	2019年3月期	994,309 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	47,876,294 株	2019年3月期2Q	47,808,392 株

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)については、従業員持株会支援信託ESOPが所有する当社株式を控除する自己株式に含めて算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が持続しているものの、米中間の貿易摩擦、英国のEU離脱問題および中東情勢の緊迫化などの海外要因に加え、消費税増税による景気への影響懸念などにより、先行きの不透明感が強まっている状況となっております。

このような状況のなか、当第2四半期累計期間の売上高は、製品商品売上高が1,969百万円（前年同期比4.3%増）および作業屑売上高が296百万円（前年同期比17.5%減）となり、合計で2,265百万円（前年同期比0.8%増）となりました。製品商品売上高のうち、LPガス容器用弁および設備用弁は販売キャンペーンの実施により前年同期で増加し、また船舶用弁は前期の落ち込みから復調し増加しました。車載用およびバルク付属機器は前年同期比で減少しましたが、そのうちバルク付属機器につきましては、前期末における値上げ前の駆け込み需要の反動であり、今期通期では、設置後20年の交換需要による売り上げ増加が見込めます。

損益面につきましては、当期は前期に完成したLPガス容器用弁の新製造ラインの償却負担増や運賃その他の諸掛かりの値上がりによる経費増を工場消耗品費、消耗工具費等の圧縮や部品内製化による外注費削減および工程変更による生産性向上、LPガス容器用弁やバルク付属機器の製品値上げ等で吸収すべく努めたことにより、営業利益21百万円（前年同期は営業損失0百万円）、経常利益15百万円（前年同期は経常損失7百万円）となりました。また、特別利益に投資有価証券売却益18百万円、役員退職慰労引当金戻入額10百万円を計上したことにより四半期純利益38百万円（前年同期は四半期純損失10百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、168百万円減少して3,880百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加241百万円による一方で、現金及び預金の減少174百万円および受取手形及び売掛金の減少212百万円ならびに仕掛品の減少19百万円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて、27百万円減少して4,741百万円となりました。これは主に、リース資産（純額）の増加49百万円および建設仮勘定の増加21百万円による一方で、機械及び装置（純額）の減少47百万円および投資有価証券の減少54百万円によるものです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて、196百万円減少して8,621百万円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末に比べて、117百万円減少して2,455百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加168百万円による一方で、支払手形及び買掛金の減少154百万円およびその他の流動負債の減少138百万円によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて、8百万円減少して2,364百万円となりました。これは主に、その他の固定負債の増加50百万円による一方で、長期借入金の減少15百万円および役員退職慰労引当金の減少35百万円によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、125百万円減少して4,819百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、70百万円減少して3,801百万円となりました。これは主に、四半期純利益38百万円および剰余金の配当95百万円による利益剰余金の減少57百万円、その他有価証券評価差額金の減少19百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の43.9%から44.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、157百万円減少（前第2四半期累計期間は169百万円の減少）して71百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は228百万円（前第2四半期累計期間は321百万円の減少）となりました。これは主に、売上債権の減少額303百万円により増加する一方で、たな卸資産の増加額221百万円、仕入債務の減少額154百万円および割引手形の減少額91百万円により減少するものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は20百万円（前第2四半期累計期間は297百万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入49百万円により増加する一方で、有形固定資産の取得による支出87百万円により減少するものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は91百万円（前第2四半期累計期間は449百万円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の純増額168百万円、長期借入れによる収入100百万円およびセール・アンド・リースバックによる収入38百万円により増加する一方で、長期借入金の返済による支出115百万円および配当金の支払額95百万円により減少するものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日、「2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」を公表いたしました
が、通期業績予想につきましては、2019年5月7日発表の「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	319,680	144,785
受取手形及び売掛金	994,273	781,872
商品及び製品	2,017,412	2,259,156
仕掛品	56,922	37,746
原材料及び貯蔵品	631,605	630,940
その他	30,625	27,252
貸倒引当金	△1,541	△1,541
流動資産合計	4,048,978	3,880,213
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	389,227	378,841
構築物（純額）	60,910	58,452
機械及び装置（純額）	1,031,140	983,269
車両運搬具（純額）	1,546	1,231
工具、器具及び備品（純額）	51,701	42,702
土地	2,441,000	2,441,000
リース資産（純額）	54,907	104,746
建設仮勘定	6,173	27,365
有形固定資産合計	4,036,607	4,037,609
無形固定資産	13,829	17,314
投資その他の資産		
投資有価証券	421,771	367,149
その他	304,168	327,060
貸倒引当金	△8,100	△8,100
投資その他の資産合計	717,840	686,110
固定資産合計	4,768,277	4,741,033
資産合計	8,817,256	8,621,246

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	719,385	564,898
短期借入金	1,189,999	1,358,000
1年内返済予定の長期借入金	224,742	223,862
未払法人税等	10,643	17,779
賞与引当金	41,697	43,300
その他	386,209	247,570
流動負債合計	2,572,676	2,455,411
固定負債		
長期借入金	1,248,920	1,233,820
再評価に係る繰延税金負債	731,471	731,471
退職給付引当金	258,318	250,151
役員退職慰労引当金	83,509	48,159
その他	50,339	100,898
固定負債合計	2,372,559	2,364,501
負債合計	4,945,236	4,819,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,993,096	1,993,096
資本剰余金	4,217	4,217
利益剰余金	288,327	230,748
自己株式	△152,781	△146,090
株主資本合計	2,132,859	2,081,971
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,493	20,696
土地再評価差額金	1,698,666	1,698,666
評価・換算差額等合計	1,739,160	1,719,362
純資産合計	3,872,020	3,801,333
負債純資産合計	8,817,256	8,621,246

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,247,880	2,265,732
売上原価	1,821,597	1,837,815
売上総利益	426,282	427,916
販売費及び一般管理費	427,254	406,091
営業利益又は営業損失(△)	△971	21,825
営業外収益		
受取利息	12	8
受取配当金	6,863	6,295
不動産賃貸料	3,054	2,986
スクラップ売却益	1,723	2,162
その他	2,088	2,450
営業外収益合計	13,741	13,902
営業外費用		
支払利息	8,904	10,096
営業外支払手数料	5,000	3,049
手形売却損	4,299	4,666
その他	2,022	2,048
営業外費用合計	20,226	19,861
経常利益又は経常損失(△)	△7,456	15,866
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	10,725
投資有価証券売却益	—	18,468
貸倒引当金戻入額	1,433	—
特別利益合計	1,433	29,193
特別損失		
固定資産除却損	25	0
特別損失合計	25	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△6,048	45,060
法人税、住民税及び事業税	4,796	6,328
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	4,796	6,328
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,844	38,731

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前 四半期純損失(△)	△6,048	45,060
減価償却費	71,556	92,616
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△18,468
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△236,572	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,983	1,603
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,080	△8,167
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,856	△35,350
受取利息及び受取配当金	△6,875	△6,303
支払利息	8,904	10,096
固定資産除却損	25	0
売上債権の増減額(△は増加)	263,488	303,976
たな卸資産の増減額(△は増加)	△602,129	△221,903
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,234	△154,486
未収消費税等の増減額(△は増加)	30,859	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	—	△18,314
割引手形の増減額(△は減少)	12,460	△91,574
破産更生債権等の増減額(△は増加)	248,569	—
その他	△78,011	△119,037
小計	△291,088	△220,253
利息及び配当金の受取額	6,877	6,302
利息の支払額	△9,043	△10,762
法人税等の支払額	△28,507	△4,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	△321,761	△228,881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△306,220	△87,108
無形固定資産の取得による支出	△970	△200
投資有価証券の取得による支出	△536	△521
投資有価証券の売却による収入	—	49,942
定期預金の増減額(△は増加)	10,000	17,000
その他	520	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△297,206	△20,887
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	79,997	168,001
長期借入れによる収入	557,202	100,000
長期借入金の返済による支出	△119,340	△115,980
セール・アンド・リースバックによる収入	—	38,500
自己株式の取得による支出	△57,202	—
自己株式の処分による収入	59,884	4,818
配当金の支払額	△46,800	△95,990
その他	△23,836	△7,475
財務活動によるキャッシュ・フロー	449,905	91,873
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△169,062	△157,895
現金及び現金同等物の期首残高	488,812	229,680
現金及び現金同等物の四半期末残高	319,750	71,785

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の主たる事業は、高圧ガス用バルブおよび関連機器類の製造、販売等の単一セグメントであるため、記載を省略しております。